

# 北部機械金属業界の景況動向

(2009年7~9月実績/2009年10~12月見通し)

○ 調査対象：舞鶴市以北3市2町の機械金属関係企業125社 【調査時点 平成21年9月下旬】

○ 回答数：72社 (内訳は以下のとおり)

① 市町別 = 舞鶴市 13、宮津市・与謝2町 14、京丹後市 45

② 業種別 = 一般機械 32、電気機械 4、輸送機械 11、精密機械 16、その他 9

(区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等

電気機械…家電部品、電子部品等

輸送機械…自動車部品、船舶等

精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等

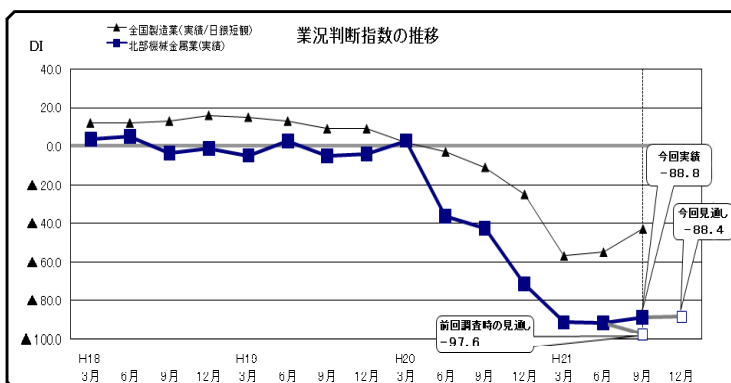
③ 従業員数別 = 10人未満 27、10~50人未満 29、50人以上 10、不明 6

※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：財団法人京都産業21北部支援センター】

## — 調査結果 —

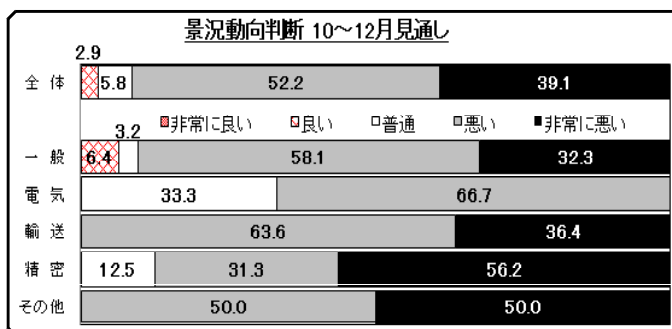
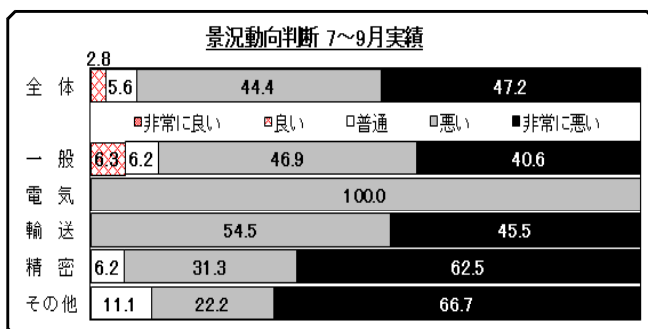
### 1 景況動向判断

● 7~9月実績のDI(業況判断指数)は、過去最低値を記録した前回調査(4~6月分。以下「前回」という)の-91.6から2.8ポイント改善し-88.8となった。「良い」と回答した企業は一部で、全体的には改善したとは言い難い。地域別では、舞鶴市域-61.5(前回-76.5)、宮津市・与謝2町域-100.0(同-100.0)、京丹后市域-93.3(同-94.1)と、一部の地域では若干の回復がみられるものの、北部地域全体の景気回復の兆しは乏しく、引き続き厳しい現状にある。注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)



● 業種別では、一般で-81.2(同-92.1)と10.9ポイント改善したが、精密-93.8(同-91.7)、その他-88.9(同-78.6)と悪化している。特に電気が2期連続、輸送が3期連続で-100.0となり低迷が続いている。

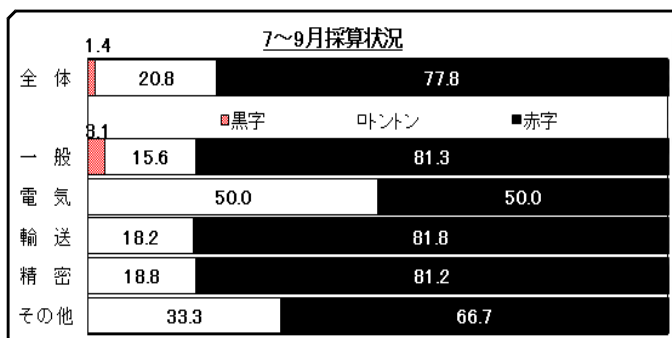
● 10~12月見通しのDIは、全体で前回(7~9月見通し)-97.6から9.2ポイント改善の-88.4を見込んでいる。業種別では、一般-84.0(前回-97.4)、電気-66.7(同-100.0)、精密-87.5(同-100.0)の3業種で回復の兆しはみられるが、輸送・その他では-100.0を見込むなど厳しい見方を崩していない。大手だけでなく中小の製造業にまで景気回復感が広がっている見方もあるが、北部地域では先行きの不安感も依然としてあり、厳しい見通しとなった。



### 2 採算状況

● 7~9月の採算状況は77.8%(前回83.1%)が赤字となった。3期連続して約8割の企業が赤字となり、赤字が長引くことで企業は更に苦しい経営を強いられている。

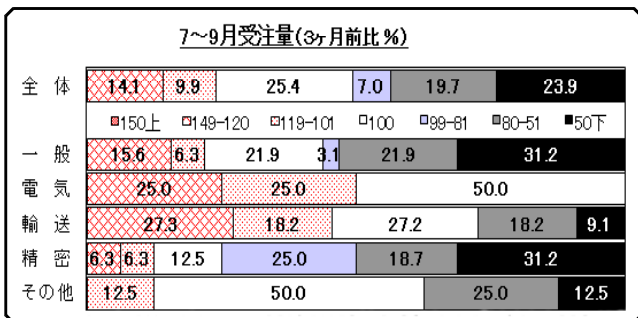
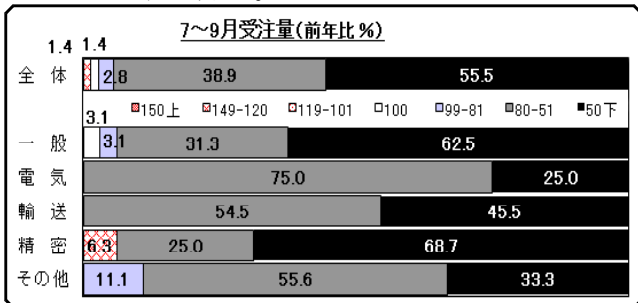
● 業種別では、電気を除き4業種で6割以上が赤字としている。特に、一般81.3%(同89.5%)、輸送81.8%(同76.9%)、精密81.2%(同91.7%)の3業種では8割以上が赤字としている。



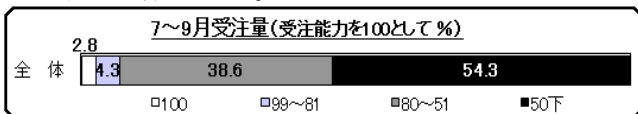
### 3 受注量

●7～9月受注量は、対前年同期比を確保した企業はわずか2.8%（前回6.1%）と更に悪化した。中でも対前年比8割以下とする企業が約95%を占めている。一方、対3箇月前比では、49.4%（前回29.6%）の企業が100%以上を確保しており、電気・輸送・その他の3業種で6割以上の企業が100%以上を確保している。

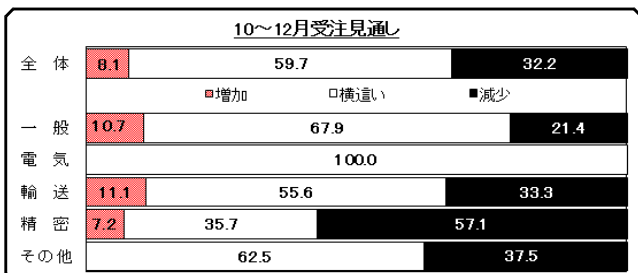
対3箇月比からみると回復傾向がうかがえるが、対前年比・来期の見通しからみて、本格的に回復したとは言い難い。



●受注能力を100とした7～9月受注量（稼働割合）では、満杯とした企業は僅か2.8%（前回5.0%）で、97.2%の企業が受注に余力がある状況である。業種別では、電気・輸送・その他の3業種で満杯とする企業はない。

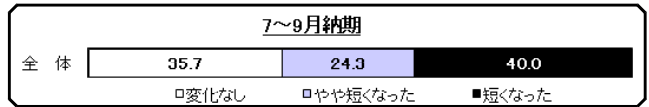
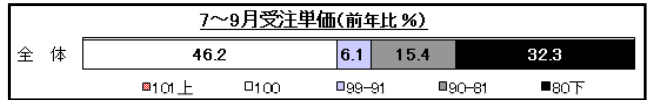


●10～12月受注見通しは、増加を見込む企業は8.1%（前回2.6%）とやや増加している。一方で、横這いとする企業は59.7%（前回57.9%）、減少を見込む企業は32.2%（同39.5%）と、約9割の企業が厳しい状況が続くと予想している。



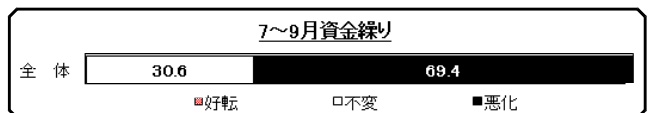
### 4 受注条件（受注単価／納期）

●受注単価については上昇した企業は皆無で、横這い又は下落した企業のみとなっている。また、納期については、64.3%の企業が「やや短くなった」「短くなった」と回答しており、受注条件も厳しい状況が続いている。



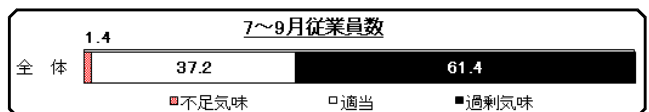
### 5 資金繰り

●資金繰りは、好転とした企業が皆無（前回1.2%）となり、横這いは30.6%（前回25.6%）、悪化は69.4%（同73.2%）と、苦しい経営状況が続いている。



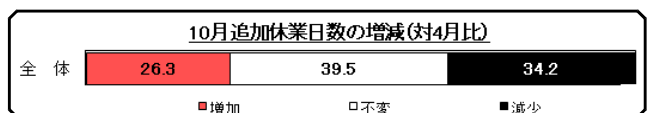
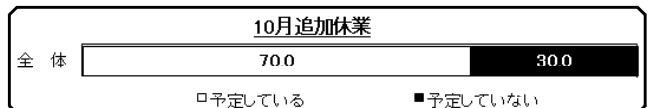
### 6 従業員数

●従業員数は、過剰気味が61.4%（前回72.5%）と高い水準であり、業種別では、一般で約6割、輸送で約9割の企業で過剰気味としている。



### 7 10月の追加休業

●追加休業を予定している企業は70%、予定していない企業は30%となった。追加休業予定企業のうち、4月期と比較し休業日数が増加した企業は26.3%、不変とした企業は39.5%、減少した企業は34.2%となり、約7割の企業で休業日数の改善が見られず、苦しい状況が続いている。



### 8 設備投資

●設備投資は、実施中又は計画中とした企業は10.3%（前回10.3%）で、業種別では電気が計画なし、輸送・精密で90%超が計画なしとしている。

